

2026年8月期 第2四半期 (2025年9月～2026年2月)

# 決算説明会

株式会社アドテックプラズマテクノロジー  
東証スタンダード  
証券コード：6668



# 2026年8月期 第2四半期連結業績

## 2026年8月期 2Q実績の概況

売上高 5,460百万円（前期比 ▲13.2%）

営業利益 640百万円（前期比 ▲20.7%）

半導体・液晶関連事業の受注高 7,987百万円（前期比 +31.9%）

- 半導体・液晶関連事業

当期は、前期後半における受注環境悪化を背景としたスタートとなり、売上高及び営業利益は前年同期比で減収減益。

一方、受注高は設備投資拡大に向けた動きを背景に、第1四半期、第2四半期と増加傾向で推移しており、受注環境は回復基調にある。

- 研究機関・大学関連事業

売上高は、前期に大口案件の売上計上があった反動により、前年同期比で減少。

一方、利益面では、前期に実施した業務移管に伴う経営構造の見直し効果により、収益性は改善した。

## 2026年8月期 業績予想

通期業績予想に対する中間時点の進捗は、主として為替差益の影響により、高い水準。足元では受注環境は回復基調で推移しているものの、中東情勢の混乱およびその長期化による世界経済や半導体業界への影響が不透明な状況にあることから、通期業績予想は据え置いている。

# 連結業績概要

(単位：百万円)	25/8期 2Q実績	26/8期 2Q実績	前期比 増減率	予想	
				26/8期 業績予想	前期比 増減率
売上高	6,290	5,460	▲13.2%	11,600	▲8.5%
売上総利益	2,329	2,183	▲6.3%	-	-
営業利益	807	640	▲20.7%	1,580	▲12.6%
経常利益	1,262	977	▲22.6%	1,350	▲28.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	990	624	▲36.9%	1,010	▲49.7%

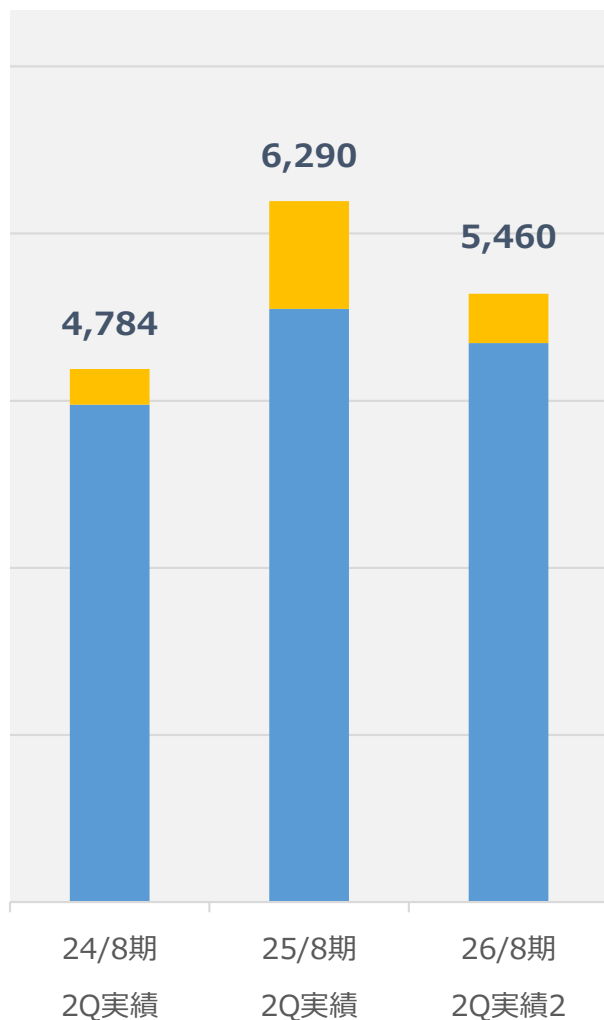
# 連結売上高・営業利益の推移



# セグメント情報

セグメント別売上高推移

(単位：百万円)



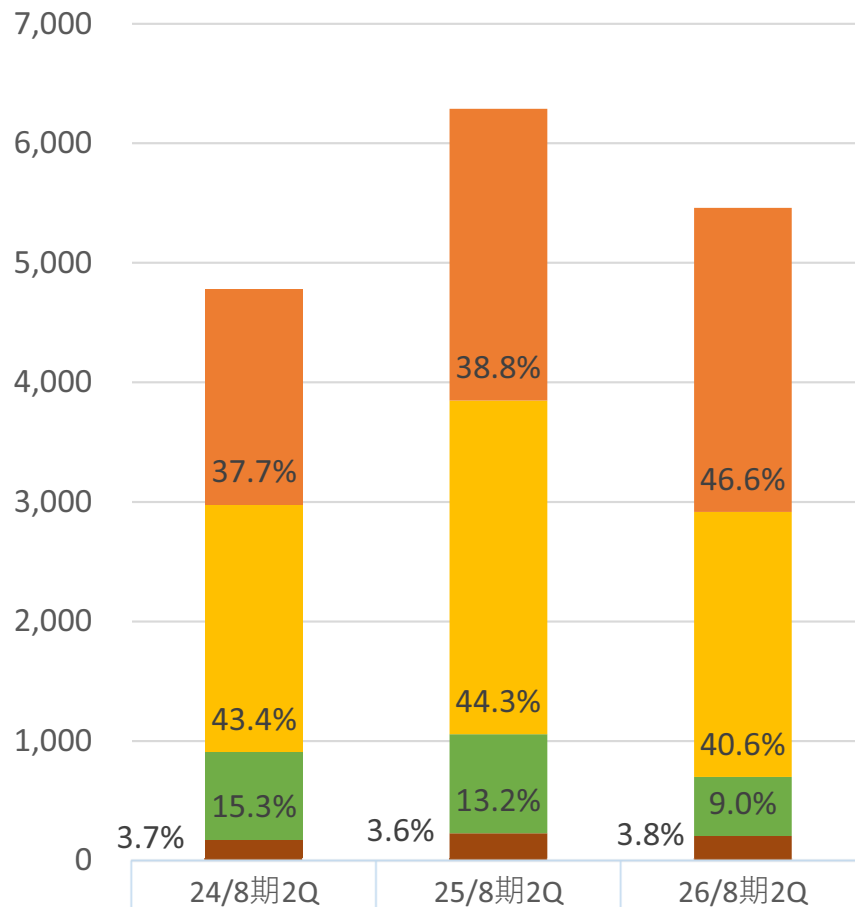
(単位：百万円)		25/8期 2Q実績	26/8期 2Q実績	前期比 増減率
■ 半導体・液晶 関連事業	売上高	5,324	5,016	▲5.8%
	営業利益	754	559	▲25.9%
■ 研究機関・大学関 連事業	売上高	966	443	▲54.1%
	営業利益	16	41	145.9%
合計	売上高	6,290	5,460	▲13.2%
	営業利益	770	600	▲22.1%

※各セグメントの営業利益は、セグメント間取引を含む

# 連結地域別売上高

## 地域別売上高推移

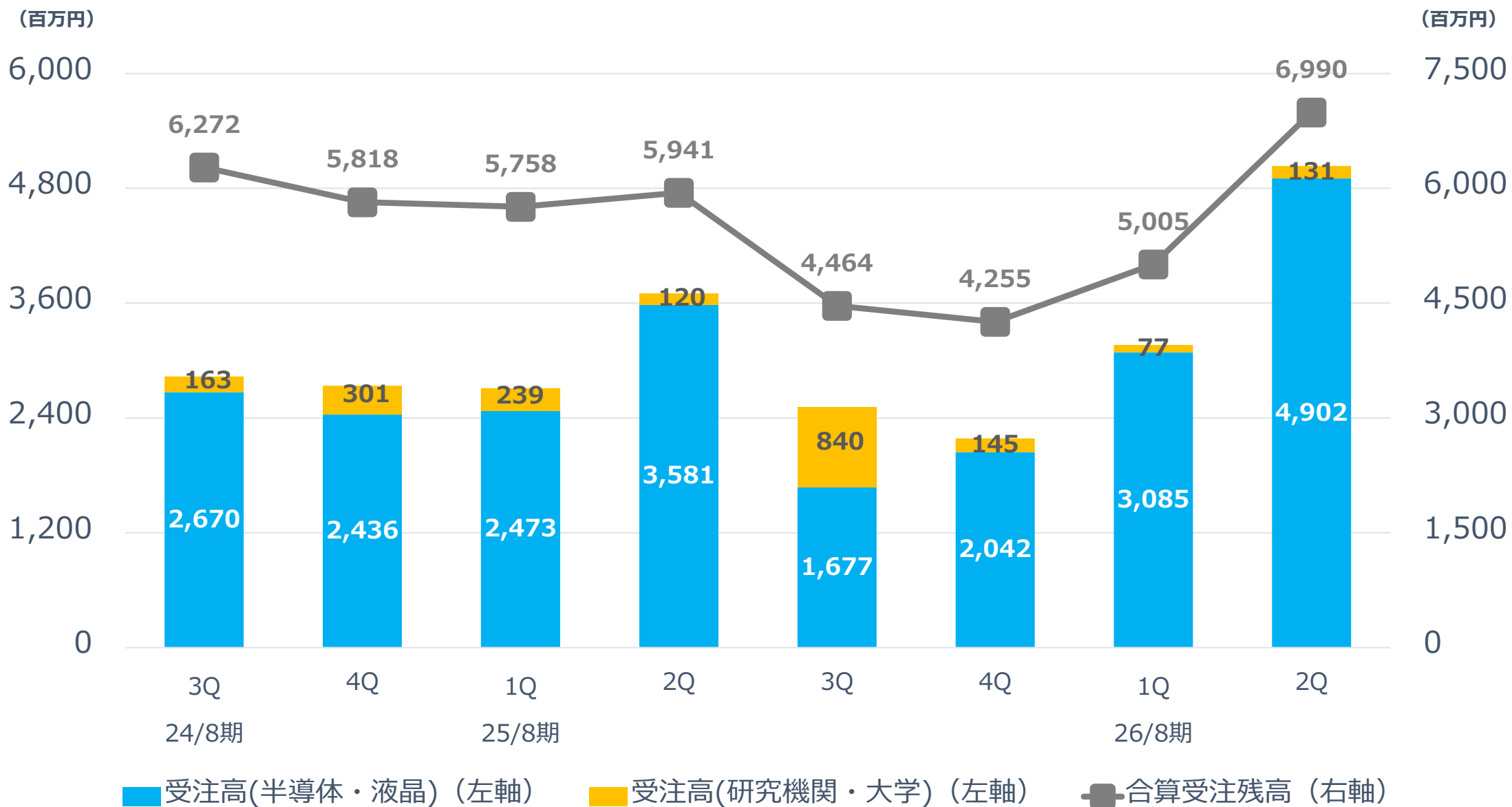
(単位：百万円)



	24/8期2Q	25/8期2Q	26/8期2Q
日本	1,803	2,441	2,542
アジア地域	2,074	2,789	2,217
米国	730	829	493
欧州	176	229	207

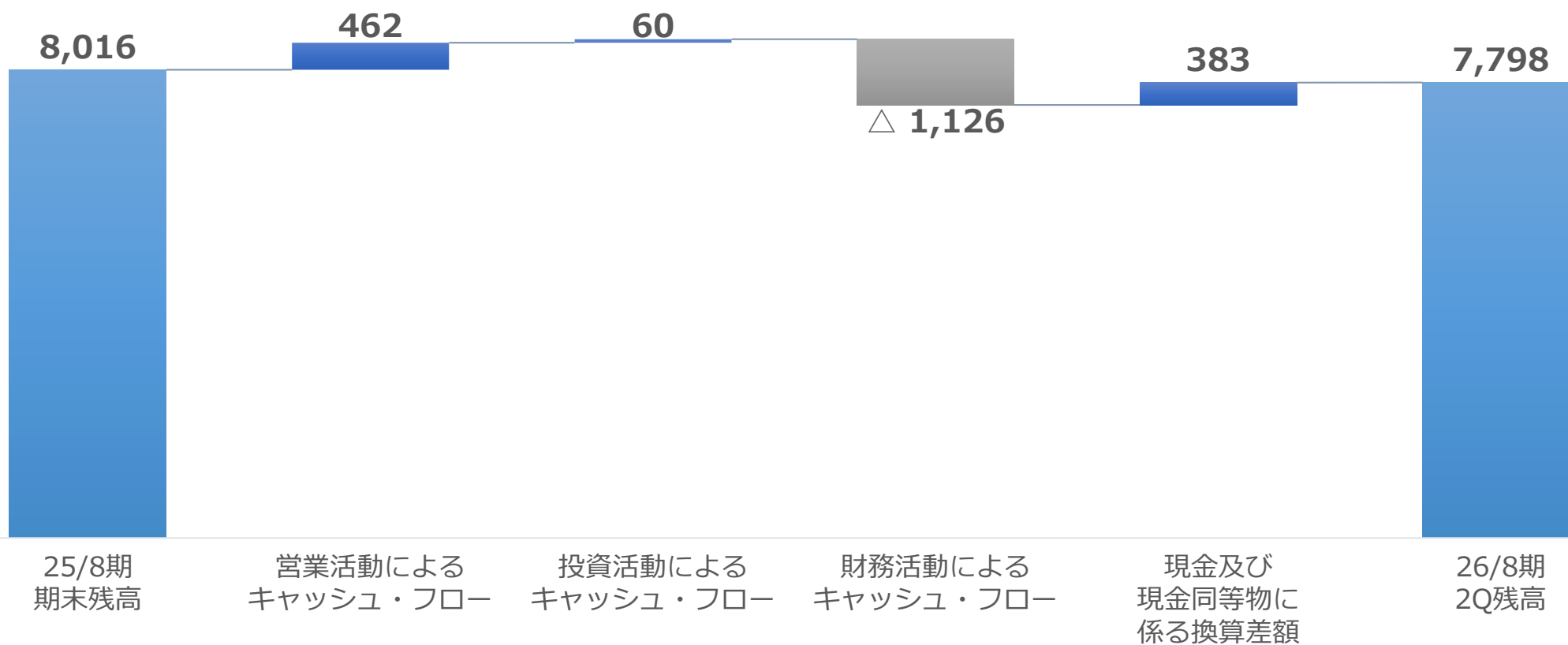
(単位：百万円)	26/8期 2Q実績	セグメント別内訳	
		半導体・液晶関連 事業	研究機関・大学関 連事業
日本	2,542	2,098	443
アジア地域	2,217	2,217	-
米国	493	493	-
欧州	207	207	-
合計	5,460	5,016	443

# セグメント別受注高・受注残高推移



# 連結キャッシュ・フロー

(百万円)



# 2026年8月期 連結業績予想

# 半導体業界の動向

業界		2025年 (7月~12月)	2026年 (1月~6月)	2026年 (7月~12月)	内容
半導体	メモリ				AIサーバー向けを中心に回復が継続。 2026年はHBMに加え、DRAM・NANDへ回復が波及し、市場全体が上向き見通し。
	ロジック				AI向け先端ロジックを中心に回復基調。 2026年は一部先端分野が牽引し、ロジック市場全体は業界平均を上回る水準で推移する見通し。
	イメージセンサ				AI端末・デジタルカメラ向けが下支え。 車載の弱さは残るものの、全体では緩やかな回復基調。
	車載半導体				EV不振を背景に低調な環境が継続。 2026年は悪化一巡し、業界平均水準まで回復する段階。
光学系	スパッタ・蒸着 (有機EL・FPD含む)				スマホ・タブレット向け設備投資の回復を背景に2025年後半は改善。 2026年前半は一服し業界平均並みとなるが、後半以降は蒸着分野を含め再び回復基調を見込む。

※2026年初頭時点の当社業界認識

<矢印について>

強い回復・拡大局面

緩やかな回復・拡大局面

安定

強い減速・縮小局面

緩やかな減速・縮小局面

# 連結業績予想

(単位：百万円)	25/8期 実績	26/8期		進捗率
		2Q実績	通期予想	
売上高	12,680	5,460	11,600	47.1%
営業利益	1,808	640	1,580	40.5%
経常利益	1,897	977	1,350	72.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,007	624	1,010	61.9%

# トピックス



2025.09

**SEMICON Taiwan**  
**CSEAC China**

2025.10

**SEMICON West**

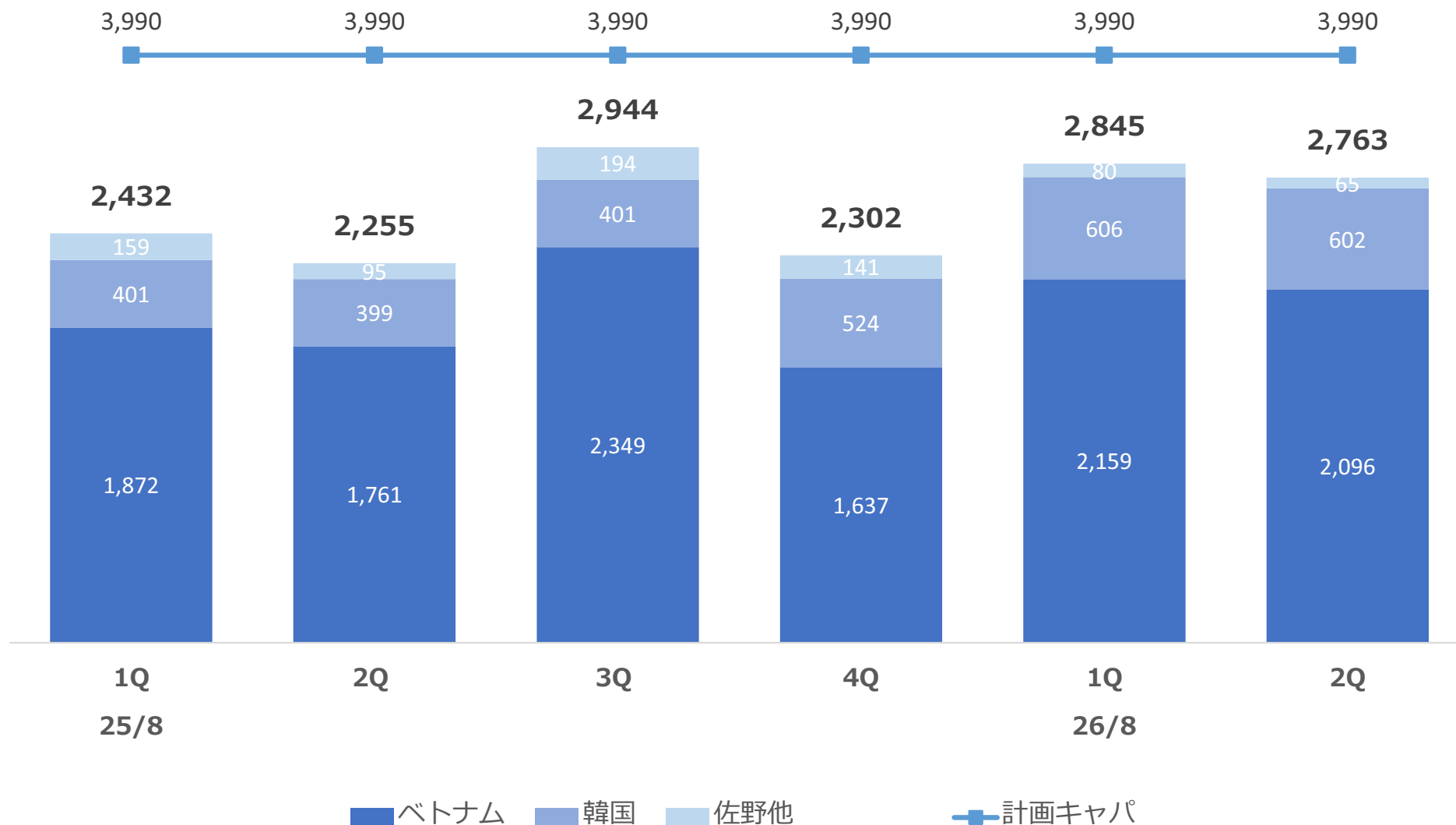
2025.12

**SEMICON Japan**

2026.02

**SEMICON Korea**

## 高周波電源・マッチングユニット 生産実績台数



# 製品ラインナップ充実の取組

R F G	新 TSE	13.56MHz 5000W	量産機 開発中	M U	AMVS	60MHz 3000W	New	直 流 電 源	バイポーラ 電源	1000V40A 20kW	New
	新 AVL	13.56MHz 3000W	量産機 開発中		新 AVM	400kHz 1000W	New		DCパルス 電源	1500V 3A 1500V 0.5A 5300W	New
		27.12MHz 3000W	試作機 開発中			A M E	27.12MHz 5000W			開発中	
	TXE	13.56MHz 1500W	量産機 開発中		計 測 器		新 ADS		13.56MHz 5000W	量産機 開発中	マ イ ク ロ 波 応 用 機 器
新 ADM	27.12MHz	開発中	新 製品	プラズマ タクト		PLT-200	量産機 開発中				
R F G	新AVL : 高速制御電源 Mark5			M U	新AVM : 高速制御電源用 MU Mark5			計 測 器	新ADS : 50Ω系パワーセンサ		
	新TSE : 高効率電源								新ADM : 非50Ω系インピーダンスセンサ		

■ RFG=高周波電源 ■ MU = マッチングユニット



**生産力**

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>納期短縮</li> <li>海外生産拠点への製造移管</li> <li>長納期材料の確保</li> <li>板金加工等の内製化</li> <li>ベトナム工場・佐野設備増強</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>海外の人材育成</li> <li>海外生産拠点と本社の連携強化による製造工程の効率化と高品質化の実現</li> </ul> |
|--|--|

- 連結売上高400億円

**設計開発力**

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>高速制御システムの開発</li> <li>高付加価値製品の開発</li> <li>国内外の人材育成</li> <li>RF測定装置の開発</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>高速制御システムのラインナップ拡充</li> <li>高付加価値製品の開発加速</li> <li>国内・海外拠点の設計開発人材の増強</li> <li>RF測定装置の開発及び顧客提案の強化</li> </ul> |
|--|--|

- 生産キャパ3倍
- 設計キャパ2倍

**営業力  
技術サービス力**

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>海外現地社員の育成</li> <li>中国深圳拠点の新設</li> <li>人材増強</li> <li>高付加価値製品の提案、販売</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>営業・技術サービス人材の増強</li> <li>米国・中国等の海外市場でのシェアUP</li> <li>大手装置メーカーへ高付加価値製品の提案</li> </ul> |
|---|---|

- 海外売上比率80%以上

**新量産製品の  
ビジネス化**

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>新量産製品の開発<br/>マイクロ波システム<br/>バイポーラ電源<br/>リモートプラズマ用電源</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>アドテックへの量産開発業務の集約</li> <li>営業・開発・量産面の効率化・加速化</li> </ul> |
|--|---|

新量産製品の  
売上比率30%確保

# ご参考資料

会社	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
設立年月日	1985年1月26日
所在地	広島県福山市引野町五丁目 6 番10号
決算期	8月
資本金	835百万円 (2026年2月末)
代表者	代表取締役社長 森下 秀法
従業員数 (連結)	543名 (2026年2月末/臨時従業員除く)
セグメント	半導体・液晶関連事業 研究機関・大学関連事業
グループ拠点	国内：広島・神奈川・栃木 海外：米国・英国・ベトナム・韓国・台湾・中国

## 半導体・液晶関連

半導体製造装置内でプラズマを発生させる高周波電源を主力製品とした関連製品の設計、製造、販売、サービスの提供

### ユーザー

- 半導体製造装置メーカー
- 光学機器メーカー etc.

### 主力製品

- 高周波電源(RFG)
- マッチングユニット(MU)
- 計測器
- 直流電源
- マイクロ波応用機器

### 会社名

株式会社アドテックプラズマテクノロジー  
Adtec Technology, Inc.  
Adtec Europe Limited  
ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.  
ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd.  
ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.  
ADTEC Plasma Technology China Ltd.

## 研究機関・大学関連

医療現場、国の研究機関等において使用される、治療装置や実験施設等の電源装置の設計、製造、販売

### ユーザー

- 国の研究機関
- 大学及び大学病院
- 一般産業 etc.

### 主力製品

- 粒子加速器電磁石励磁用電源
- 高電圧電源
- 直流電源
- マイクロ波応用機器

### 会社名

株式会社IDX

## アドテックグループの強み

### ▶顧客目線のきめ細かい技術サービス対応

日々進化する半導体製造装置に求められる高周波電源の開発の対応力  
電源専門メーカーとして高度化する顧客開発ニーズへ柔軟に対応できる

### ▶電源に特化した経営を行う事により、電源開発に注力でき、市場を取り込む等の意思決定が早い

周波数の安定性を重視した、高耐久性の製品開発力  
高周波電源の他、小型DC電源から大型キッカー電源、マイクロ波製品など多くのバリエーションを扱える

## RFG・MUの使用工程例

シリコンウエハー上に作られるICチップの前工程

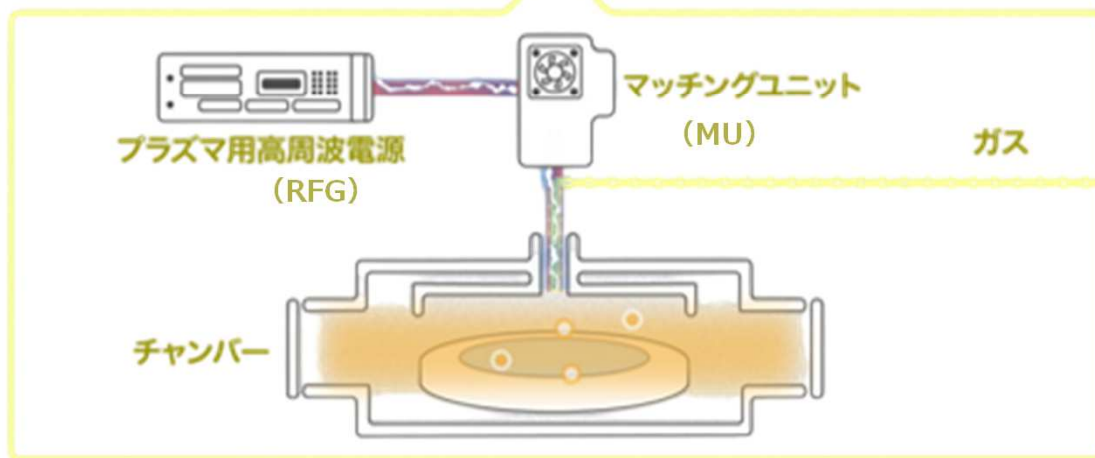


安定性  
Stability



ドライプラズマ  
プロセス

耐久性  
Durability



半導体製造プロセスにおいて、エッチングや成膜などの微細加工を実現する為に、プラズマ発生用の高周波電源は必要不可欠。

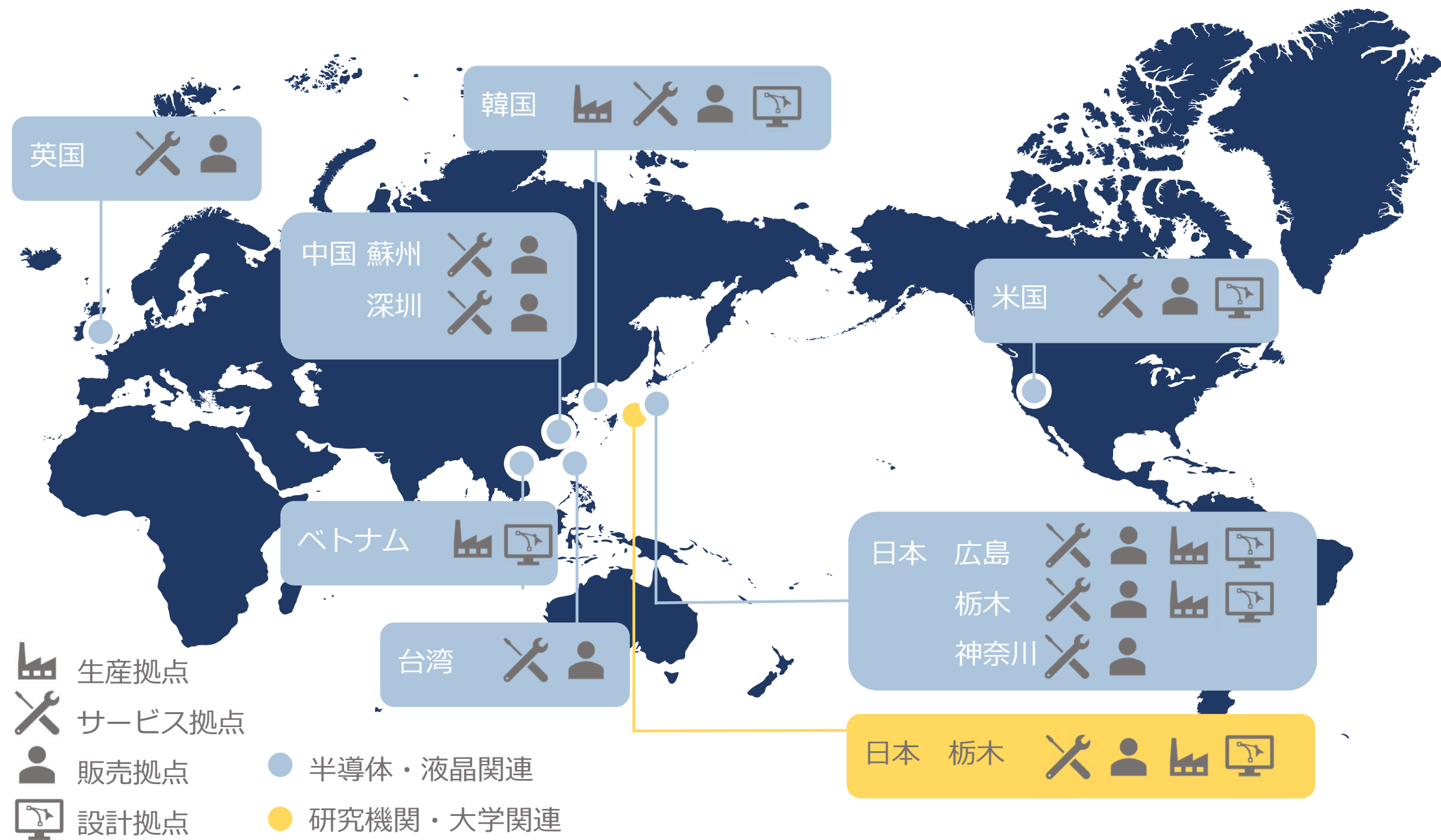
### 【求められる性能】

チャンバー内で起こる現象に合わせ、安定したプロセスを再現できる必要がある為、安定した正確な電力供給ができる制御技術と、耐久性が求められる。

### 【当社主力製品RFGの強み】

革新的な電気回路技術を用いて、故障率が低減した製品。

# グループ拠点



# ご清聴ありがとうございました。

■ 将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて当社が判断したものであり、様々な不確定要因を含んでおります。

従いまして、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。